

すみだ郷土文化資料館だより

MIYAKODORI

みやこどり

みやこどり(ゆりかもめ)は、すみだを舞台にした和歌に登場するなど墨田区にゆかりのある鳥です。

すみだ郷土文化資料館
SUMIDA HERITAGE MUSEUM

第 68 号 2024年(令和6年)3月発行

ふるさととの出会い、ときめきへの旅。

すみだ郷土文化資料館

131-0033 東京都墨田区向島二丁目3番5号

☎(03)5619-7034 ☎(03)3625-3431

電話番号は正確に。

https://www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/siryou/kyoudobunka/index.html

E-mail sumida-htm@city.sumida.lg.jp

■開館時間

午前9:00～午後5:00 (入館は午後4:30まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日に当たるときは翌平日)

毎月第4火曜日(祝日に当たるときは翌平日)

12月29日～1月2日

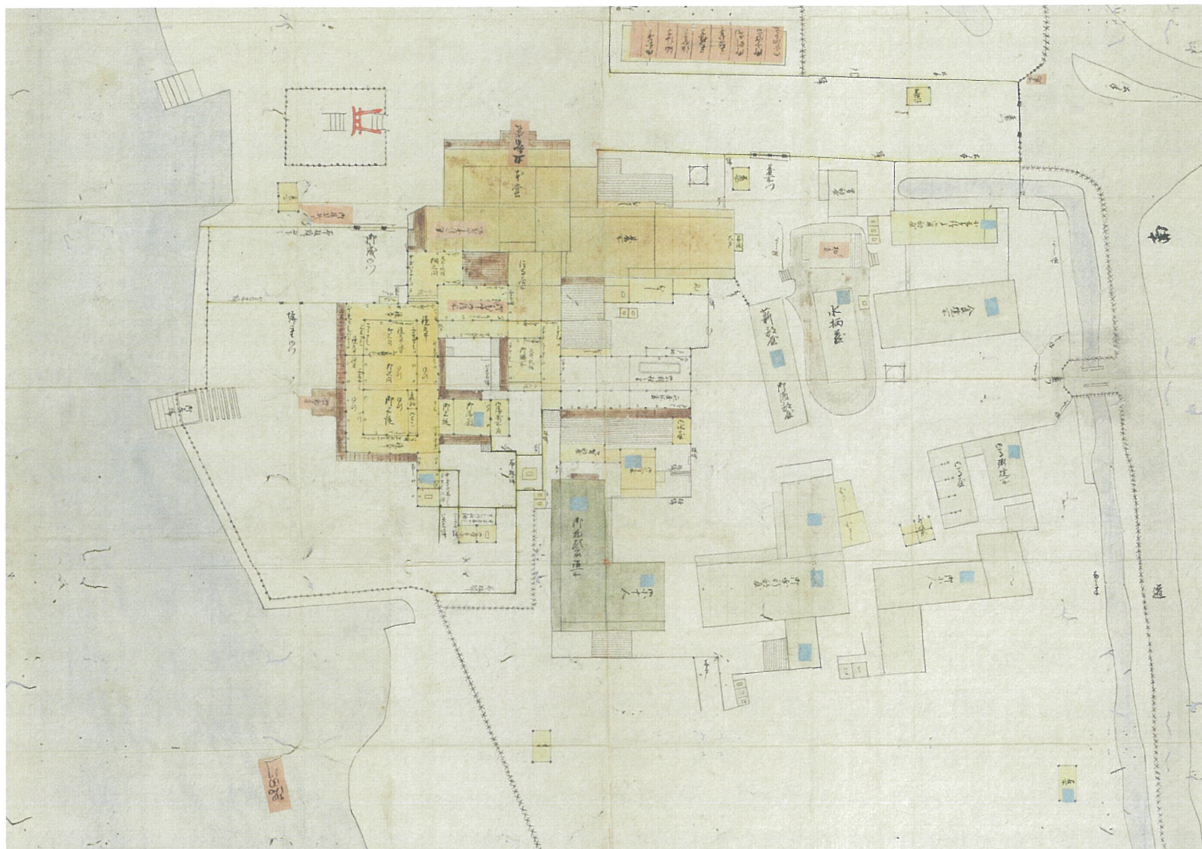
■観覧料

個人100円、団体(20人以上)80円、

中学生以下、身体障害者手帳・愛の手帳・

療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を

お持ちの方及び介助の方は無料



隅田川御殿御指図(部分、すみだ郷土文化資料館所蔵)

企画展

大熊喜邦旧蔵 隅田川御殿三図と隅田堤の植桜

会期：令和6年3月16日(土)～5月19日(日)

おおくまよしくに
大熊喜邦(1877～1952)は、帝国大学工科大学建築学科を卒業し、近代建築・日本建築研究で活躍した著名な学者です。氏の収集資料に、「隅田川御殿之図」があり、昭和4年(1929)刊行の『東京市史稿 遊園篇』第1巻に収載されています。現在、東京都公文書館が所蔵する「隅田川御殿之図」は、一昨年当館が大熊家のご子孫から寄贈を受けた同名

図の精巧な写しでした。もとは、江戸時代後期に隅田堤の植桜に尽力した隅田村名主坂田氏が所蔵しており、これを喜邦は入手したのです。また、「隅田川御殿之図」の御殿部分の描写は、貞享2年(1685)に五代將軍綱吉の御成を想定した際の指図(設計図)を模写したもので、「隅田川御殿御指図」と称されています。

さらに同寄贈資料には、榎本武揚

てんかく はまむらいたいかいせんぶん
篆額・濱村大澗撰文「墨堤植桜之碑」(向島五丁目1番地)の碑文考察過程がわかる書状が遺されていました。これにより、かなり正確に隅田堤の植桜の過程が明らかにできそうです。

今回の企画展では、これらの新出史料を中心に据えながら、館蔵の浮世絵と一緒に川、舟、堤と桜が織りなす春の隅田堤の情景を紹介していきます。